

▽ 1980. 5. 2 夜 ~ 5日

▽ 後立山爺が岳 東尾根 ~ 鹿島槍が岳

▽ 110-71	CL	後藤 隆徳
	会計	竹端 節次
	食料	毛利 哲也
	記録	鈴木 貞理子
	医療	土佐 昇
	装備	村松 正広

5/2 124

三島	19:23
下町	19:35
御坂峠	21:20
松本	
下町	
鹿島部落	1:55
就寝	2:55

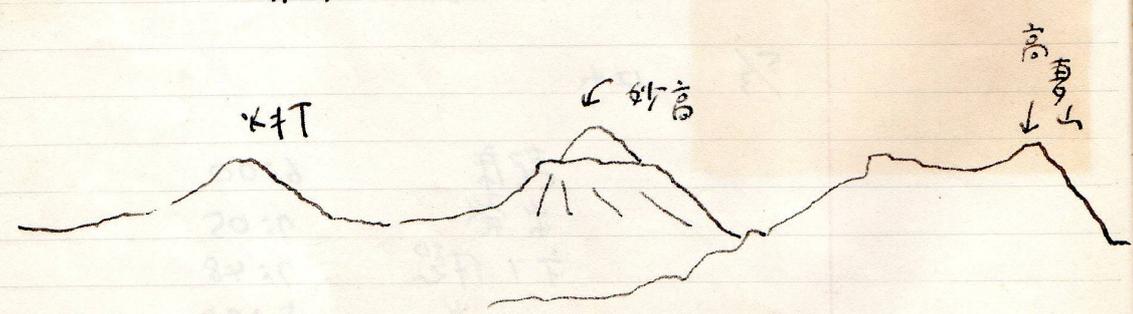
5/3 124

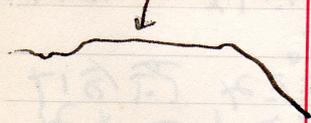
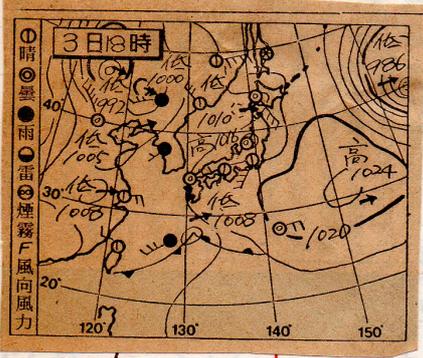
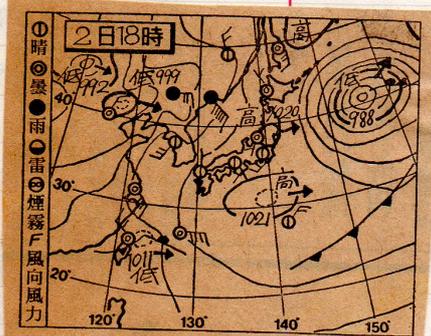
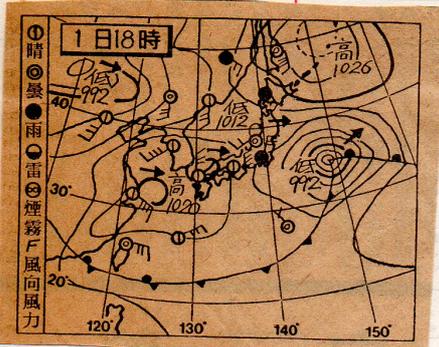
起床	6:00
出発	7:05
下町	7:48
出	8:00

才 2 休 總	8:36
才 3 "	9:42
才 4 "	11:03
BC 着	
後 茶 着	13:05
天気 固 と 3	16:00
合 当 用 始	16:00
就 寝	20:20

5/4 124 a 5c 毛 y a 5 取

起 床	2:00
倉 事	2:45
移 了	3:25
BC 茶	3:30
トガリ 毛 7	4:58
経 線	5:45
箭 乃 岳	6:35
冷 池 山 荘	7:45
出 茶	8:00





休憩 8:15  
 " 9:25  
 鹿島橋頂上 10:13  
 茶 11:25  
 冷池着 12:10  
 茶 12:28  
 爺が岳主峰 13:42  
 信藤. 丹松南峰へ 13:35  
 爺が岳茶 14:00  
 トニガリ池? 14:46  
 BC着 15:15  
 倉当. 天竺園 16:00  
 靴履 21:00

5/5 天竺園

起床 12:00  
 倉事 12:10  
 終了 12:30  
 下木揃収 2:00  
 出発 2:40  
 1776m :  
 鹿島印落 6:20  
 大町 :  
 松本 :  
 三島 15:00

▽ 5/2

は+ 元長 6:30 天気快晴 三島に向い  
 鈴木E迎えにゆく。車は女房が市役所の  
 老人福祉課の鈴木Eからかりつけたもの。  
 Eは調子よい。  
 鈴木Eと乗って到着。三島駅に向う。駅に  
 は毛利。工役が車に上っていた。あと竹端  
 を待つ。竹端 約20分遅れで到着。とこ  
 して下土井駅に向い村松をひき、2台を揃  
 う。車は一路長野に向う。車の運転は御  
 巧峰まで行ける。あとは毛利が  
 村松まで行く。車は快調に飛ぶ。  
 途中 ① 界に2台付く。鈴木Eは積  
 の石が車の中に入っている。  
 ② 境を過ぎると全長をひき、1台は自由  
 でも付く。あとは適当に2台は村  
 松まで行く。大岡を過ぎ、大岡温泉駅に  
 入り、温泉に到着する。2台は  
 テントを降ろす。天気はよい。

5/3

は+ 時計を直す、2-1時間早くしてしま  
 のでまた少し遅くなった。  
 6時に再び出発。もう右側は下り、  
 高が下。天気は最高だ。  
 辺りを見たい、テントをたため、荷分け  
 し、温泉に到着。計画書をたため、  
 2台はまたまた、急ぎで帰る。

大汗をかく。この道は地国の道とは違、2沢の右  
 の尾根に付けたものだ。これにして毛比の道  
 でかなりまいった。途中で一本入る。  
 少したべる。出発の時毛比がやうをあとす。  
 これかと眺望の良し尾根に出る。そして雪も  
 多くなった。今までの所は南面だから雪は多  
 くなかった。トースは2222付けた。いた。  
 雪が出たり厚道になつたりいざがしかった。ま  
 うかなり高度もかかっている。下町、松本とま  
 には平野が広がっている。そしてこの平野の  
 真中は葎色の河原の河が右に左に蛇行し  
 ている。そして右手には和太り雪の山が頭を  
 みせている。皆で議論して結果、これは常念寺  
 にあるものだ。

1776Mまでくるとここは眺望が広げ、唐島嶺も  
 見える。そして右には戸隠、高野山、妙高、大町、  
 雨節がみえる。序にとつては雪にはな、か  
 山でみた。